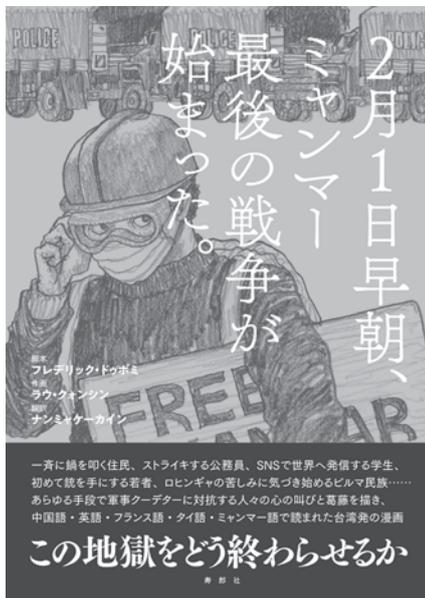




漫画で知るミャンマーの軍事クーデターと民衆の闘いのリアル

2021年に起きて現在も続いているミャンマーのクーデターを、フランスのジャーナリストと台湾で注目されている若手漫画家がタッグを組んで繊細かつ力強い筆致で描き、世界各地の人々の心を動かした作品です。記者による解説と年表、各地の在日ミャンマー人から寄せられたコメント付き。



2月1日早朝、ミャンマー最後の戦争が始まった。

今年6月末までに少なくとも**5350人**の市民が軍の暴力で死亡し、**2万7000人**が逮捕され、**330万人**が避難民となり、全人口の**半数**が貧困に陥っています。

脚本 **フレデリック・ドウボミ**
作画 **ラウ・クオンシン**
翻訳 **ナンミャケーカイン**

B5判並製116頁/定価：本体2000円+税
ISBN978-4-909281-63-0 C0931



2024年10月下旬刊

脚本 **フレデリック・ドウボミ**

1975年生まれ。パリの郊外出身。2006年よりInfo Birmanie、Euro Burma Networkなど、ミャンマー民主化運動を支持する組織に所属し、広報・支援活動を始めた。執筆したミャンマー情勢に関する書籍、漫画は十数冊に及び、ルワンダ・ツチ族に対する民族浄化問題に関する著作も発表している。

作画 **ラウ・クオンシン**

香港生まれ。幼少期を京都で過ごす。9歳で家族とともに中国に渡るも、1年足らずで香港に戻る。香港中文大学で芸術を専攻し、2019年に民主化運動が激化するとデモに参加し、警察に立ち向かう市民を描いたが、2020年に反体制的な言動を取り締まる香港国家安全維持法の成立を受け、台湾へ移住した。主な漫画作品に、香港の民主化運動を描いた『被消失的香港』、1970年代の台湾民主化運動における女性差別を描いた小説をコミカライズした『北港香爐人々挿』がある。

翻訳 **ナンミャケーカイン**

ミャンマー出身。1989年12月来日。ミャンマーと日本をともに母国として捉えている。立命館大学で博士(国際関係学)取得後、東京外国語大学で外国人特別研究員を務めた。2005年度より東京外国語大学をはじめ関東周辺にある様々な大学で非常勤講師として教える傍ら、通訳・翻訳も数多くこなす。最近では、在日ミャンマー人の研究と、タイに逃れている避難民に関する研究をしている。2021年度より京都精華大学特任准教授。

*本書は地方小扱いですので一部の書店を除き新刊配本はありません。必ず事前のご予約(ご注文)をお願いします。

ご注文は下記にご記入の上→寿郎社 FAX011-708-8566

注文票

地出版 流通センター 取扱品 書店名(番線) 御担当者名	発行 寿郎社	脚本 フレデリック・ドウボミ 作画 ラウ・クオンシン 翻訳 ナンミャケーカイン	本体価格(税抜価格) 2000円	発注日 月 日
	注文数 冊	書名 2月1日早朝、ミャンマー最後の戦争が始まった。 ISBN 978-4-909281-63-0 C0931		
▼個人注文票 個人が注文する場合は①冊数②お名前③郵便番号とご住所④電話番号をご記入のうえ、書店にお持ちいただくか寿郎社まで FAX かメールでお送りください。寿郎社にご注文いただいた場合は1冊300円の送料がかかります。				
お名前	ご住所 〒	電話番号	()	